

(3) 協議

② 小中一貫教育校のモデル校導入に向けて

(1) モデル校への支援の在り方

① 一次報告の提示

- 神奈川県としての小中一貫教育のとらえ等の提示

② モデル校への人的支援

- 中学校区 1 名程度の人的支援

コーディネーターの役割〔埼玉県の例より〕

- 教育委員会担当者との連絡・調整
- 小・中一貫教育推進委員会等の計画・立案・実施・評価等マネジメント
- 小・中合同研修会、合同授業研究会等の企画・運営の提案
- 児童生徒の交流や教員の交流(授業)における連絡調整
- 家庭・地域との連携の窓口及び家庭地域への情報発信

- 管理職の配置について

③ 小中一貫教育連絡会議の設置

- 各モデル校間で情報交換、情報共有する。
- 各モデル校での取組を検証し、普及を図る。

④ その他の支援

- 学校をサポートする組織作りへの支援(埼玉県の例より)
 - 市町村小中一貫教育推進準備委員会等の設置
 - 組織例：校長会代表、各中学校区の校長・教頭代表、委員会担当者 等
 - 取組例：市町村の小中一貫教育の在り方について総合的に協議
- ※取組については学校（校長、推進する教員）からのボトムアップを大事にする。

- 市町村教育委員会担当者への支援

市町村教育委員会担当者の役割の提示(埼玉県の例より)

- 中学校区の窓口として、市町村における小中一貫教育推進の教育方針や計画を該当校に伝える。
- 小中学校長と連携し、事前に取り組みの計画等について相談していく。
- 重点目標等の実現に向けた取組について指導・助言を行う
- 取組とその結果を地域や他校の管理職及び教員へ広めていく
- 先進的な取り組みについて情報交換を行う
- 小中コーディネーターをサポートし、必要に応じて指導・助言を行う